

浅見家四重想 須美ちゃんは名探偵!?

浅見光彦シリーズ番外

文庫判: 297ページ

出版社: 光文社

発売日: 2022年5月11日

内田康夫財団事務局・著



〈『浅見家四重想 須美ちゃんは名探偵!?' とは〉

浅見家のお手伝い・須美ちゃんとしてお馴染みの吉田須美子が活躍する浅見光彦シリーズ番外『須美ちゃんは名探偵!?'の第2弾『浅見家四重想』。須美子が日常の中に潜む小さな謎や疑問を、名探偵・浅見光彦に負けない名推理(?)で解き明かす、ほのぼののミステリーです。今回は東京都北区の商店街や、浅見光彦の母・雪江、義姉・和子、姪の智美、甥の雅人の四人にまつわる不思議な謎に挑戦します。

〈あらすじ〉

●「雅な悩みごと」

浮かない顔の雅人の様子が気になり須美子が訊ねると、賞をとったクラスメイトの俳句が、盗作かもしれないと言う。光彦の言葉をヒントに図書館へ調べに行くと、ページを折られた本が――。

●「智は愛されし」

ある日、見知らぬ人物からラブレターをもらった智美は、姉とも慕うお手伝いの須美子に相談を持ちかける。須美子はこの手紙に、智美のクラスメイトの思惑が隠されていることに気づく。

●「和を繋ぐもの」

若奥様・和子のお供で合唱コンサートに出かけた須美子。帰宅後、和子のコートにどこか見覚えのある写真が入れられていたのを知る。須美子は写真の真相を探るため、北区の街を巡り歩くが――。

●「雪に希いしは」

大奥様の雪江が商店街で聞いた、二人の少女の不穏な言葉。長いトンネルとは果たしてどこなのか。そして雪江の切なる願いとは。雪江の不安と少女たちの悩みを、須美ちゃんが一気に解決!

〈登場人物〉

吉田須美子 (よしだ すみこ) …… 浅見家のお手伝い。新潟出身。遠縁にあたる先代ばあやの推薦で、高校を卒業した春から東京・北区にある浅見家に住み込みで働く。感動屋で涙もろい。

浅見光彦 (あさみ みつひこ) …… 言わずと知れた名探偵。本業のルポライターの傍ら様々な難事件を解き明かすが、浅見家においては、いつまでも居候扱いのうだつの上がない次男坊。

浅見雪江 (あさみ ゆきえ) …… 光彦の母で、代々続く官僚の家柄を守る厳格な女傑。

浅見和子 (あさみ かずこ) …… 光彦の兄・警察庁刑事局長の陽一郎の妻。

浅見智美 (あさみ さとみ) …… 光彦の姪で、私立J学院の高校一年生。自覚はないがお嬢様。

浅見雅人 (あさみ まさと) …… 光彦の甥で、公立のA中学二年生。自由闊達なクラス委員。